

第13回 教育研究評議会議事要録

- 日 時 平成17年2月16日(水) 午後1時00分～午後3時50分
- 場 所 第1会議室
- 出席者 久米学長、井上理事、重定理事、原理事、奥村文学部長、野口理学部長、
西村生活環境学部長、矢野人間文化研究科長、的場附属図書館長、
出田、森岡、池原、富崎、磯田、清水、今井、坂本各評議員
- 欠席者 水上附属学校部長
- 列席者 岡監事、位田総務・企画課長、上岡人事課長、河井国際課長、吉田研究協力課長、
米平財務課長、山本学務課長、中川学生生活課長、鈴木入試課長、植田図書課長

議事に先立ち、第12回記録を確認。

I 審議事項

1. 学内諸規程の制定について

(1) 奈良女子大学国際交流センター規程(案)について

(2) 奈良女子大学国際交流センター運営委員会規則(案)について

学長から、これまでの審議の経過について説明のあと、国際課長から、資料1-1及び1-2により制定の趣旨及び内容について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、センター規程におけるセンター員の任期に係る条文を整理することとしてこれを承認し、役員会に提案することとした。

(3) 奈良女子大学組換えDNA実験安全管理規程の一部改正(案)について

(4) 奈良女子大学組換えDNA実験安全委員会規則の一部改正(案)について

研究協力課長から、資料1-3～1-4により改正の趣旨、内容及び委員会等における審議経過等について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、原案どおり承認し、安全管理規程については本日付けで施行、平成16年2月19日から適用することとし、安全委員会規則については平成16年4月1日から施行することとした。

(5) 奈良女子大学研究生規程の一部改正(案)について

(6) 奈良女子大学聴講生規程の一部改正(案)について

(7) 奈良女子大学科目等履修生規程の一部改正(案)について

学務課長から、資料1-7～1-9により改正の趣旨及び内容について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、原案どおり承認し、平成17年4月1日付けで施行することとした。

2. 平成17年度計画(案)について

学長から、平成17年度計画の検討の経緯及び今後の策定作業日程等について説明の後、

資料2により、各事項について説明があり、審議の結果、さらに検討を要する事項について当該部局で検討願うこととし、検討結果を踏まえた修正を含む全体的な整理については、学長及び役員に一任することとしてこれを承認し、経営協議会の審議を経て役員会に提案することとした。

3. 平成17年度予算配分（案）について

財務課長から、資料3-1～3-2により平成17年度収入・支出予算（案）及び予算配分（案）について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、原案どおり承認し、経営協議会の審議を経て役員会に提案することとした。

II 報告事項

1. 第9回役員会について

学長から、1月21日に開催された第9回役員会における審議概要及び決定事項について報告があった。

2. 全学流動化ポストに係る教員人事等について

学長から、全学流動化ポストに係る教員人事及び国際交流センターの教員人事について、次のとおり報告があった。

- ① 全学流動化ポストの助手ポスト2名分及び国際交流センター設置に伴い措置された教員1名の計3名に係る人事について選考に着手すること。
- ② 上記の人事については、大学の基本理念である「開かれた大学—国際交流の推進と地域・社会への貢献—」に基づき、全学流動化ポストの2名については、「学生支援を含む教育面」と「産学連携を含む研究面」での社会連携の推進及び広報強化を担う助手として任用し、社会連携担当教授とあわせた組織を形成し、関係の室等との連携を図ることとしたいこと。
- ③ 国際交流に係る教員については、本学の国際交流に関する方向性ともあわせて検討する必要があること。
- ④ これらを踏まえ、採用の形態や任期の有無等を含む人事の方向性を検討するため、学長、両副学長、各学部長及び人間文化研究科長により検討を行うこととしたいこと。
- ⑤ 検討結果にもとづく具体的な候補者の選考については、両副学長、各学部長及び人間文化研究科長からなる選考委員会を設置して選考願うこととしたいこと。

3. 附属図書館長候補者について

学長から、次期附属図書館長候補者として、生活環境学部的場輝佳教授（現附属図書館長（再任））を選任した旨報告があった。

4. その他

(1) 平成17年度授業料の額について

学長から、平成17年度授業料の額については、改定後の標準額と同額とすることを決

定し、2月10日に公表したことの報告があり、あわせて大学ホームページへの掲載、学内掲示場への掲示及び保護者への通知等により、周知を図ったことの報告があった。

(2) 大和郡山市との連携協力に関する協定について

学長から、大和郡山市との連携協力に関する協定を締結し、2月14日に本学において協定書調印式を実施したことの報告があった。

(3) 平成17年度大学入試センター試験について

学長から、センター試験当日、一部の試験室等において監督者や連絡員等の話し声が耳障りで試験に集中できなかったとの苦情が高等学校を通じ寄せられたこと及び状況確認を含むその後の対応について説明があり、再発防止に向けた適正な業務遂行について、周知徹底を図るよう要請したことの報告があった。

(4) アフガニスタン女性教員研修について

重定理事から、平成16年度アフガニスタン女性教員研修が無事終了したことの報告があり、協力に対する謝辞があった。

(5) 生活環境学部D棟改築工事にかかる協力依頼について

西村生活環境学部長から、現在、生活環境学部D棟を中心に管理栄養士養成施設設置のための改築工事を行っていることの報告があり、協力について依頼があった。

次回教育研究評議会を3月16日(水)午後1時から開催することとして散会

以 上